

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。

商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。

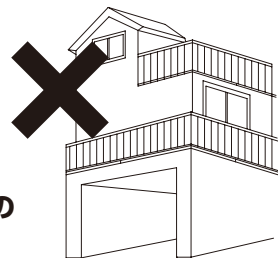
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。

作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

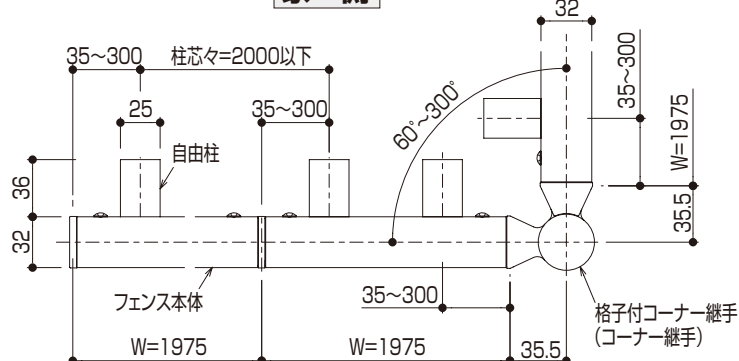
注 意

- 本商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした一般住宅地外構用です。

防護柵や手すりの機能はありません。高低差のある境界やベランダ、廊下、屋上など転落などの重大事故が起きるおそれのある場所には、使用しないでください。

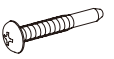
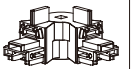
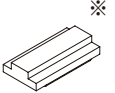
**お願い**

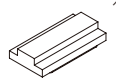
- みだりに改造や変更をしないでください。
- 柱の埋込み部分先端には、**柱内部へのモルタル侵入防止のために小口キャップ**が取付けられています。施工時、外さないでください。ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ小口キャップなしの柱を差込む施工をした場合、**侵入したモルタルによって柱が腐食膨張するおそれがあり、ブロック割れの原因になります。**
- ブロックに柱を立てる際、ブロックの連結部には柱を立てないでください。
- 柱の埋込み部分の柱内部には、**凍結破損防止のため発泡スチロール**が挿入されています。施工時、抜取らないでください。冬期柱内に浸入した**水が凍結した場合、発泡スチロールなしの柱は膨張しブロック割れの原因になります。**
- 基礎コンクリート（モルタル）には、**腐食性の強い塩素系混和剤（急結剤など）や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。**柱の腐食が促進され破損事故につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、**モルタルが固まる前**に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。締付け不良は事故の原因になります。

寸法図(単位：mm)**家 側****お願い**

- **端部、連結部からの柱位置は、35~300mmの範囲で施工してください。**
(連結部には柱は立てられません。)
- **柱ピッチは2000mm以下で施工してください。**
(フェンス本体1枚に最低1本必要です。)
- **コーナー端部からの柱位置は、35~300mmの範囲で、それぞれのフェンスに各1本施工してください。**

■フェンス本体 HFE-T#-20□□、HFE-10-20□□					■オプション部品 補助柱 HFE-KH				
姿 図	—				姿 図	—	* 枠内が本商品の同梱部材となります。それ以外は別売となります。		
部材・部品名	フェンス本体	上胴縁連結具	下胴縁連結具	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)	部材・部品名	補助柱			
品 番	—	3K-30313	3K-30314	AM-4010	品 番	—			
個 数	1	1	1	4	個 数	1			

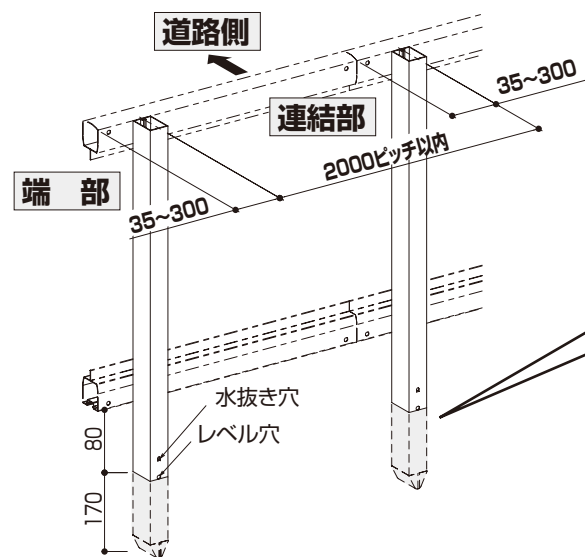
■柱・部品 自由柱 HFE-PA1-□□、HFE-PA2-10					コーナー継手 HFE-BC1				
姿 図	—				姿 図				
部材・部品名	自由柱	上部固定金具	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×25)	注意ラベル	部材・部品名	コーナー継手(上)	コーナー継手(下)	キャップ	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品 番	—	4K-16342	BM-4025GD8	2K-42631	品 番	3K-30327	3K-30328	3K-30329	AM-4010
個 数	1	1	1	1	個 数	1	1	4	4

エンドキャップ HFE-BE1					格子付コーナー継手 HFE-BC2-□□			
姿 図				—	姿 図	—		
部材・部品名	上胴縁キャップ	下胴縁キャップ	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)	組立・施工説明書	部材・部品名	格子付コーナー継手	キャップ	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品 番	3K-30323	3K-30324	AM-4010	—	品 番	—	3K-30329	AM-4010
個 数	2	2	4	1	個 数	1	4	4

※ T1型・T2型・T3型・10型は使用しません。

1. 柱の施工

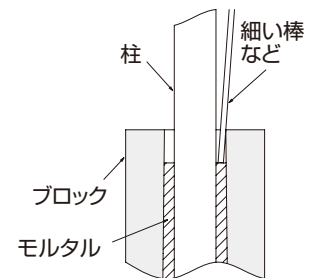
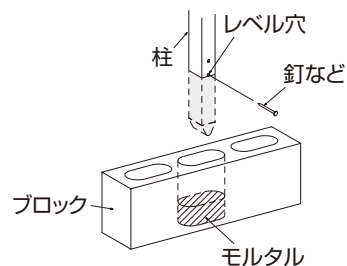
フェンス本体を正しく連結するため、柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認の上、モルタルで固定してください。



お願い
凍結破損防止のため、水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。

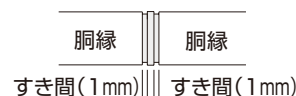
ポイント

- ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ、柱を差込むと施工が容易です。
- 釘などを使用して各柱の高さをそろえてください。
- 細い棒などで突固めながらモルタルを充てんしてください。

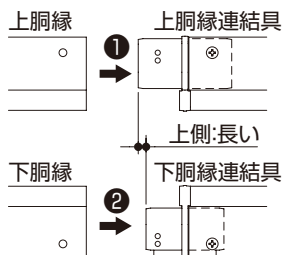


ポイント

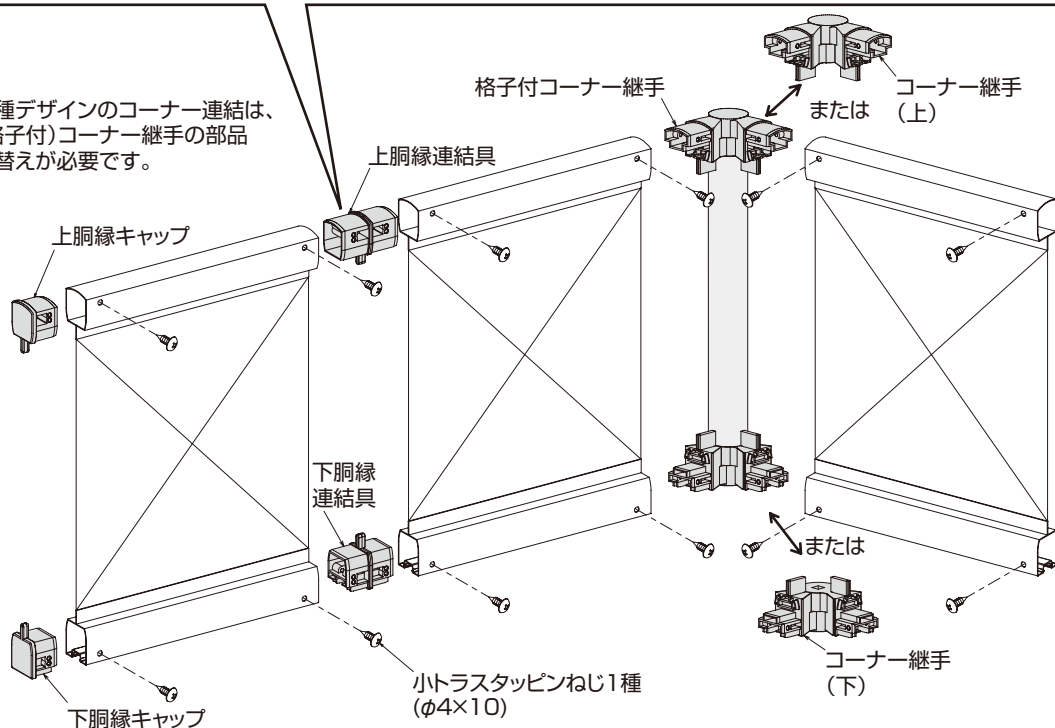
- アルミの熱膨張を考慮し、気温が低いとき（約10℃以下）に施工される場合には、5スパンまたは10mを超えるごとに連結部のすき間を1mmあけてください。



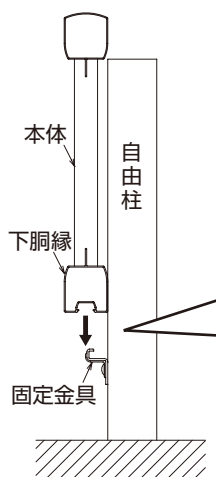
- 連結は上胴縁側から差し込むと施工が容易です。



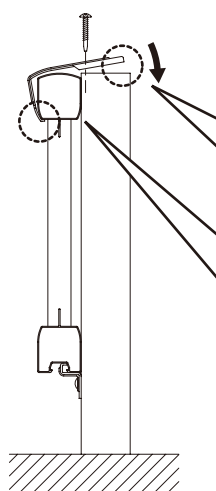
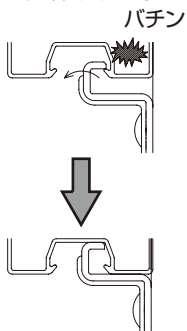
異種デザインのコーナー連結は、(格子付)コーナー継手の部品組替えが必要です。



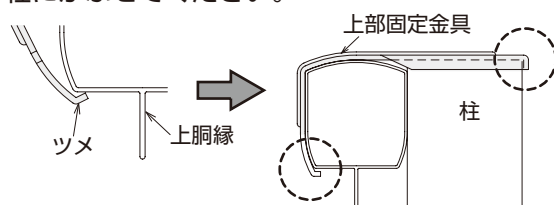
3. フェンスの取付



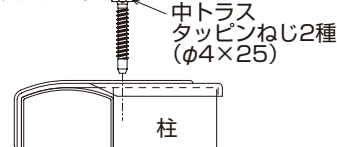
- ① 本体を位置決め後、固定金具が「パチン」と音がするまで押込んでください。



- ② 金具のツメを上胴縁に引っかけて、柱にかぶせてください。

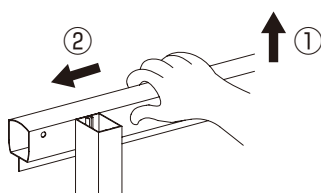


- ③ ねじで固定してください。



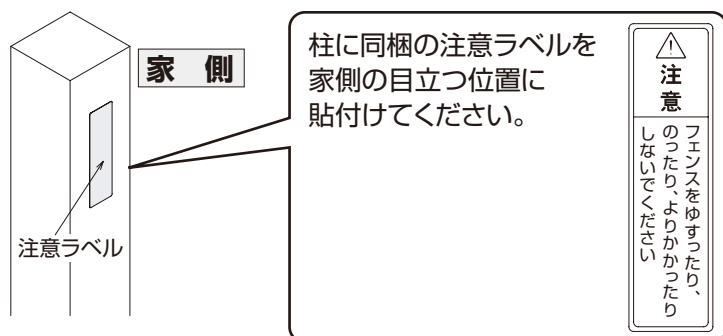
ポイント

本体をスライドさせる場合は、少し持上げて動かしてください。



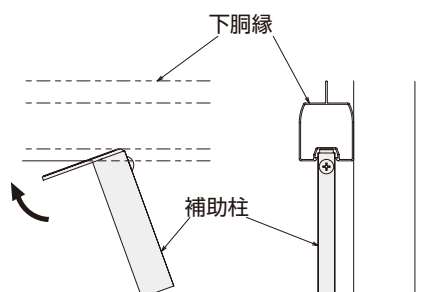
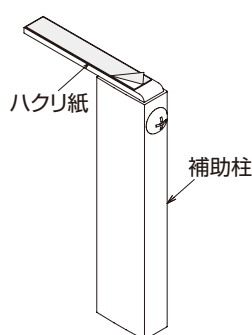
4. 注意ラベルの貼付

4 ページ



5. 補助柱(オプション)の取付

- ① 補助柱のハクリ紙をはがしてください。 ② フェンス本体中央部の下胴縁にはめ込んでください。



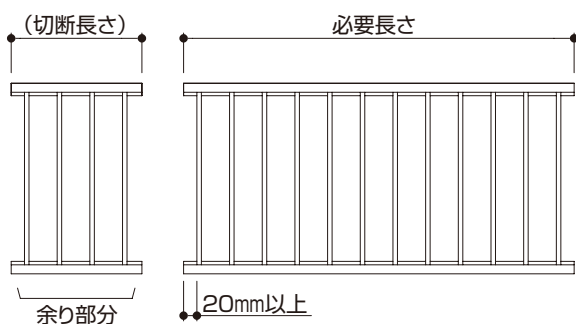
6. フェンスの切詰め方法

① 本体の切断

下図のように必要長さを決め、まっすぐに切断してください。

ポイント

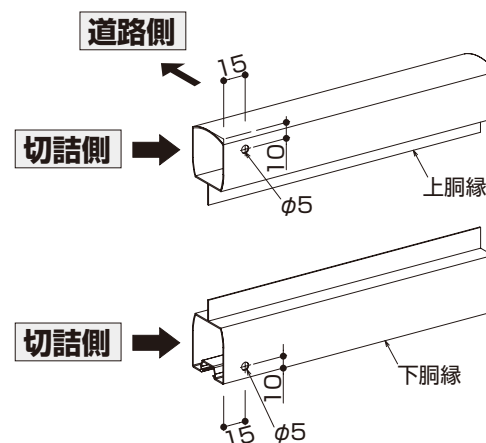
格子間で切断してください。



図はシンプルオ フェンスT2型を示しています。

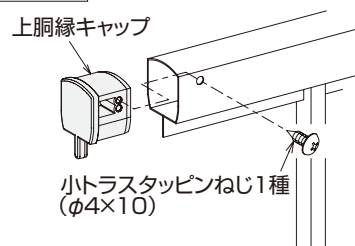
② 本体の加工

切詰め側の上下胴縁に穴加工($\phi 5$)を施してください。



③ 連結

端 部



コーナー部

